
岐阜県立山県高等学校

学 校 長 杉山 晴美
学校住所 岐阜県山県市中洞 4 4 - 1
電 話 0581-52-1551

令和 8 年度 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第 8 条第 1 項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会 議 名 山県高等学校 学校運営協議会 (第 2 回)

2 開催日時 令和 8 年 9 月 4 日 (金) 1 3 : 1 0 ~ 1 6 : 1 0

3 開催場所 山県高等学校 ゼミナール室 (会議室)

4 参加者

会 長	大野 良輔	元加茂農林高等学校長
副 会 長	吉田 安孝	元本校同窓会長
委 員	加藤 朱美	P T A 会長
	山口 幸典	中洞地区自治会長
	林 真由美	山県市主任児童委員
	米山 英津子	岐阜女子大学講師・元岐阜城北高等学校長
学 校 側	杉山 晴美	校長
	中寫 菊太郎	教頭
	中川 弘之	事務長
	中谷 長史	教務部長
	山岸 岳大	教務副部長
	市原 由季	教務副部長
	宮部 裕司	生徒指導部長
	各務 こづえ	進路指導部長

5 会議の概要（協議事項）

（１）協議の進行について

- ・ 3年生特別面接指導

意見交換

- ・ 面接指導について
- ・ 学校評価の結果について（教頭）
- ・ 学校の取り組みについて（校長）

（２）面接指導について

委員による就職面接練習を実施した後、生徒の受験準備状況や今後の指導のあり方について意見交流を行った。

意見 1 生徒はどの者も真剣に取り組んでおり、企業見学や実習の経験について一生懸命伝えようとしていた。しかし、企業の良さを一般的な表現で語る傾向が見られたため、「自分が特に印象に残ったこと」や「具体的な体験内容」を自分の言葉で説明できるような指導が必要ではないか。

意見 2 どの生徒も緊張しながらも誠実に受け答えをしていた。面接練習を重ねることで、自分の強みや目標を整理し、質問の切り口が変わっても対応できるようになるため、繰り返し練習することが重要。

意見 3 部活動や実習などについて質問した際、活動内容や研究内容の説明が抽象的になりがちであった。具体的な事例や経験を交えて説明できる力を身に付けることが必要である。

意見 4 企業や職場の情報が事前にわかると、面接官役としてより実際の質問ができるとの意見があった。また、想定外の質問に対応する力を養うため、多様な質問を繰り返し経験させることが大切である。

意見 5 緊張から十分に力を発揮できなかった生徒もいたため、本番を見据えた多様な場面での面接練習を継続的に実施し、緊張に慣れる機会を増やすことが必要である。

（３）学校評価アンケート結果について

生徒アンケート及び保護者・学校運営協議会委員アンケートの分析結果について学校から説明を行い、意見交換を行った。

意見 1 生徒アンケートでは、ICT 活用、外部機関との連携、地域連携、生徒指導、相談体制等に対する評価が高く、学校の取組が生徒に理解されていることがうかがえる。

意見 2 保護者アンケートにおいて、情報発信、地域連携、体験学習、教職員の対応に関する評価が向上しており、学校の取組が保護者にも伝わっている。

意見 3 いじめ防止や施設設備に関する項目については、「わからない」という回答も見られるが、実際の取組が不足しているというよりも、保護者が状況を把握しにくいことが要因ではないか。

意見 4 非常時における ICT 活用や学習支援についても、平時の授業で活用している様子を積極的に発信することで、学校の取組をより理解してもらえるのではないかな。

(4) 情報発信と学校の魅力づくりについて

学校公式Instagramを中心とした情報発信の成果や今後の方向性について協議した。

意見 1 Instagramによる情報発信は、生徒の活動や学校の様子がわかりやすく伝わっており、保護者や地域住民、中学生やその保護者からも好意的に受け止められている。

意見 2 従来の学校イメージが変化し、「生徒が生き生きと活動している学校」であることが伝わるようになった。

意見 3 授業や実習、企業連携、進路学習など、日常の教育活動を継続して発信することで、学校の教育内容への理解や信頼がさらに深まる。

意見 4 学校見学会への参加者増加や中学校関係者からの好意的な評価は、情報発信の成果の一つである。

意見 5 現在の情報発信は担当教員の努力に支えられている面が大きく、今後は組織的に継続できる体制づくりも必要ではないかな。

(5) 学校運営全般について

意見 1 生徒と教職員との信頼関係が良好であり、生徒アンケートの結果からも安心して学校生活を送れていることがうかがえる。

意見 2 中学校では十分に力を発揮できなかった生徒が、本校で成長し、積極的に進路実現へ向かっていることは学校の大きな成果である。

意見 3 校舎内の清掃や環境整備が行き届いており、事務職員を含めた学校全体の取組に対して感謝する。

意見 4 今後も新たな取組を増やすだけでなく、現在行っている教育活動や学校の強みを積極的に発信し、学校の魅力をより広く伝えていくことが望ましい。

会議のまとめ

面接指導については、具体的な体験を自分の言葉で表現する力を高めることや、繰り返しの練習を通して緊張への対応力を育てることの重要性が確認された。また、学校評価アンケートでは生徒・保護者ともに多くの項目で高い評価が得られ、特に情報発信や地域連携の成果が認められた。今後は、現在の取組を継続するとともに、生徒指導や ICT 活用、施設整備等に関する情報発信をさらに充実させ、学校の魅力や教育活動を積極的に地域へ発信していくことが確認された。